

ワン★オール プレス 第14号

2017年4月20日発行

新センター長あいさつ



今年度よりさっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールのセンター長をさせていただくこととなりました。ワン・オールは平成25年7月に、札幌市より基幹相談支援センター運営業務を受託しました。関係する機関の皆様からのご協力により、まもなく5年目を迎えます。平成29年度は、ワン・オール開設以降最大の人員配置変更となります。再委託により、出向いただく方が2名に増え、業務受託法人内でも1名新しい顔が加わり、センター長も交代することとなりました。今後ともこれまで以上に、よろしくお願いいたします。

平成29年度は、『さっぽろ障がい者プラン』の全面改訂の年度にあたります。地域生活支援拠点についての整備の検討があわせて行われる予定で、国は平成30年度からの障害児福祉計画策定も求めており、札幌市の平成30年度以降6年間の障害福祉施策の大枠が決まっていく節目の年度となります。

今後、これまでの業務も継続、発展させていきながら、大都市札幌の仕組みづくりについて、委託の相談支援事業所の皆様を中心に、新たな提案も検討しています。また、平成30年度には、障害者総合支援法等の改正もあり、制度情報や札幌市自立支援協議会、ワン・オールの活動状況など、情報発信も強化していきたいと思っておりますので、この「ワン・オールプレス」の他、「ワン・オールかべ新聞」(<http://one-all.net/>)も是非ご覧下さい。
(林健一)

新任職員あいさつ



みなさん、こんにちは。今年度よりワン・オールの一員となりました、田中佳子と申します。東区の相談室セーボナスの相談支援専門員をしております。ワン・オールは週2日の勤務となります。基幹相談支援センター、ワン・オールの一員として与えられた責務を全うできるよう、全力で頑張ります。



みなさまからいろいろ教えていただきながら進んでいきたいと思っております。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

新任職員あいさつ



はじめまして。4月よりワン・オールの一員となりました、赤杉美香と申します。以前は札幌の隣町の相談支援事業所で相談員として働いていました。小さな町から札幌という大都市での仕事となり、まちの規模の大きさと情報の多さに圧倒され、戸惑い、朝の札幌駅の人の多さには目がまわっています。そんな私ですが、今までの経験を活かしつつ、でも気持ちはゼロからの出発、みなさまから色々教えていただき、学んでいながら、ワン・オールの職員として成長していきたいと思っています。



これからどうぞよろしくお願いいたします。



災害に備えた地域での支え合い研修会が開催されました



3月15日、教育文化会館にて「災害に備えた地域での支え合い研修会～障がいのある方の避難支援を考えよう～」が開催されました。東日本大震災を経験された、宮城県石巻市「障がい者相談支援事業所とも」の神童みえ子氏をお招きし、被災時の避難の様子、避難後の生活などについてお話しいただきました。実際に災害を経験された立場から、自助・公助のほかに「近助」の力の大切さもお話しくださいました。その後、ワン・オールプレスの中で取り組み紹介をしました「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」で関わった町内会（厚別区厚別中央振興会、中央区南円山地区旭山町内会）の方々にもご登壇いただき、地域での防災への取り組みの実践を報告いただきました。会場から関心や驚きの声もれ、助言者としてご登壇いただいた神童氏からも「もって帰りたい」とのお話しもいただきました。同じく、ご登壇いただいた福島県から避難されてきた障がいのある方として、佐川氏から札幌へ避難後の生活のお話しもいただき、改めて近助の力の大切さをお話しいただきました。

研修の申込みも定員を超えるほどいただき、研修会場も定員いっぱいまで狭く座りにくい中でしたが、ご参加いただいた方々、ありがとうございました。

研修にご参加された方のお手元には配布されましたが、「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」の事業報告書が完成しました。今回の研修で取組事例としてお話しいただいた地域への具体的な支援内容や、モデルの個別避難計画等資料も掲載されています。研修でお配りした以外にも部数があります。興味のある方は、札幌市障がい保健福祉部障がい福祉課かワン・オールまでご連絡いただくと、お渡しすることができます。ぜひお手にとってご覧ください。

札幌市のホームページにも掲載されました。以下 URL からアクセスしていただくと、事業報告書をはじめ、研修資料などもダウンロードすることができます。

http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/guide/zaitaku_06.html



(sat)

センター長退任のご挨拶

ワン・オールの開設準備から含めると丸5年、基幹相談支援センターの仕事に関わることができました。先進地の視察を含め、色々な方々の意見が盛り込まれてスタートしたワン・オールでしたが、はじめてみると想定外のことも沢山起こり戸惑うことも少なくない日々でした。それでも、平成25年7月から船出して4年弱、なんとか座礁せずに進んでこられたのは、相談支援部会、自立支援協議会運営委員会、基幹相談支援センターの運営委員会などからの意見をいただけたからだと思っています。

自分の記憶が正しければ、札幌市で現在の委託相談支援事業の前身である障害児（者）地域療育等支援事業や市町村障害者生活支援事業などがはじまったのは平成8年（1996）以降です。当時は、「相談支援」という言葉もなく、やっと障がいのある方が地域で暮らすことを社会や制度が考えはじめた頃だったように思います。今では「自立支援協議会」という言葉があちこちで語られ、必要な会議があると市役所等が会場として提供されて障害のある方の地域生活支援について行政の方と民間が協力しあっています。20年あまりかかりましたが、立場や役割が違って違ひだけを強調するのではなく相手の意見を分かろうとすることで、互いの間に『橋』がかかり、その上をお互いが行き来できるようになってきたのだと思います。架けた『橋』が外れることなく太くなって、色々な人、機関が沢山行き来できるようになればと思います。

これまでのワン・オールへのご支援を心から感謝いたします。自分はこれから指定相談支援事業所の仕事を主にする予定です。本当にありがとうございました。これからもワン・オールをどうぞよろしく願いいたします。
(大久保薫)

さっぽろ地域づくりネットワーク

ワン・オール



〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園 302号

TEL: 011-213-0171

FAX: 011-213-0172

E-mail: sapporo@one-all.net URL: one-all.net

one all press
one all press